

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	1年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
国語	現代の国語		2		2		脇坂 真紀 ・ 船越 あい		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
現代の国語			東京書籍				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		①②③④⑤⑩		面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標

様々な作品に触れながら書く力、読み取る力、聞き取る力、受け止める力、自分の考えを表現・伝える力を養う。基本的な漢字の読み書きと語彙力の向上を目指す。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考		
			回数	選択番号	提出日				
4	4	年間オリエンテーション							
		「ルリボシカミキリの青」							
5	8		1	①	5月10日				
6	6	「未来をつくる想像力」	2	②	6月10日				
7	4								
8	2	『チャレンジ常用漢字』（第一学習社） P.69までの漢字課題に取り組む							
9	4	「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」	3	③	9月10日				
10	8	「鍋洗いの日」	4	④	10月10日				
11	6	「りんごのほっぺ」	5	⑤	11月10日				
12	4	「原稿用紙の使い方」	6	⑩	12月10日				
1	6	学年末試験対策							
2	4	映像視聴（NHK特集）							

2026年度 年間教育計画

所 属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学 科	普通科	コ ー ス	全コース共通		学 年・年 次	1 年
教 科	科 目		単 位 数		標 準 単 位 数		担 当 者		
公 民	公 共		2		2		垣 本 康 彦		
教科書名			出 版 社		学 習 書		学 習 期 間		
公 共			東 京 書 籍		な し		通 年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		⑤⑦⑧⑩⑪⑬		面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標

私たちの社会を私たちの力でつくりあげるといった主体的で積極的な公共への関わりを育む。
現代社会にあるたくさんの課題を正確にとらえ、当事者意識をもって問題解決に取り組み技能を培う。
自他の人権を守り、一人ひとりの生き方を尊重し、生きづらさへ対処法を考える想像力を育てる。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考	
			回数	選択 番号	提出日			
4	4	民主主義とは 立憲主義とは 人権保障の意義と展開						
5	8	公共のとびら・まとめ 民主主義とは 立憲主義とは	1	⑤	5月10日			
6	6	人権保障の意義と展開 男女共同参画社会の実現に向けて 私たちの民主政治	2	⑦	6月10日			
7	4	地方自治のしくみと役割 国会のしくみと役割 内閣のしくみと役割						
8	2	政治参加と選挙 政党と利益集団 メディアと世論						
9	4	法と社会規範の役割 法の成立と適用 市民生活と法	3	⑧	9月10日			
10	8	多様な契約 消費者の権利と責任 司法のしくみと役割	4	⑩	10月10日			
11	6	刑事司法と司法参加の意義 市場経済のしくみ 国民所得と経済成長	5	⑪	11月10日			
12	4	金融のしくみと働き 中央銀行の役割と金融環境の変化 財政の働き	6	⑬	12月10日			
1	6	財政の課題 社会保障の考え方 社会保障の課題とこれから						
2	4	既習内容のまとめ 時事問題						

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	1年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
数学	数学 I		2		2		牛建 昭子		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
Standard 数学 I			東京書籍				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		①②③④⑤⑥		面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標							
数学の基礎的な計算、図形、グラフの知識を培わせ、社会で起こる事柄に活用するために解き方だけでなく論証に基づいてどのような繋がりがあるのかをよく理解する。 ①図形やグラフを式から導き出し、正確に表せられるような知識や技術を身につけさせる。 ②公式や例題の解き方を覚えるのではなく、論証に基づいた考え方を養う。 ③日常生活を送る上で、社会の課題に活用するために必要な知識や考え方を理解する。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考	
			回数	選択 番号	提出日			
4	4	式の展開						
5	8	因数分解 実数	1	①	5月10日			
6	6	根号を含む式の計算 不等式と一次不等式	2	②	6月10日			
7	4	不等式の公式						
8	2							
9	4	集合 命題と条件	3	③	9月10日			
10	8	論証 2次関数	4	④	10月10日			
11	6	2次関数の最大・最小 2次関数の決定 2次関数のグラフと共有点	5	⑤	11月10日			
12	4	2次不等式	6	⑥	12月10日			
1	6	既習内容のまとめ						
2	4	復習問題の演習						

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	1年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
保健体育	体育		3		3		遠藤 信行、三田村 優子、小西 唯		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
現代高等保健体育			大修館				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート	①②③		面接時数	全実施時間数 84 時間		
	報告課題集						標準面接時数 15 時間		
定期試験	年間・(学期) 1 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								
指導目標									

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	集団行動。 ジョギングやストレッチ。大縄跳び。 科技高レポート223301					
5	9		1	①	5月30日		
6	12	ストレッチ。 体カテスト。 ドッジボール。 体育理論。 科技高レポート223302					
7	6		2	②	7月31日		
8	6	ストレッチ。 キックベースボール。 ドッジボール。 科技高レポート223303					
9	12						
10	9						
11	12	ストレッチ。 サッカー。 体育理論	2	③	11月30日		
12	3						
1	9	ストレッチ。 サッカー。 アルティメット。					
2	6						

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	1年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
保健体育	体育		1		1		遠藤 信行、三田村 優子、小西 唯		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
現代高等保健体育			大修館				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		①②③		面接時数	全実施時間数 28 時間	
	報告課題集							標準面接時数 1 時間	
定期試験	年間・(学期) 3 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標

1年次は「現代社会と健康」についてをテーマとし、生活習慣病や感染症について理解し、その要因となる飲酒や喫煙などについても学ぶ。また薬物乱用などの社会的な問題について学び、現代社会における様々な健康問題を理解させる。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 科技高レポート223401					
5	4		1	①	5月30日		
6	3	・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 科技高レポート223402					
7	2						
8	1		2	②	8月31日		
9	2	・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 科技高レポート223403					
10	4						
11	3	・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復					
12	2		3	③	12月20日		
1	3	・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択・健康に関する環境づくり					
2	1						

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	1年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
外国語	英語コミュニケーションⅠ		3		3		竹内一夫・浦谷知治・西野由香		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
All Aboard! English CommunicationⅠ			東京書籍				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		①・②・③・④・⑤・ ⑳・㉑・㉒・㉓・㉔		面接時数	全実施時間数 81 時間	
	報告課題集							標準面接時数 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標
全商英検2・3級合格に向けての単語や文法、イディオムなどを覚え、教科書内の英文を日本語訳できるようになることを最低限度の目標とする。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	Pre Lesson1『My name is Ito Neko』 Pre Lesson2『I Like Junk Food!』 Lesson1『Breakfast around the World』新出単語					
5	9	Lesson1『Breakfast around the World』本文読解① Lesson1『Breakfast around the World』本文読解②	1	①	5月10日		
6	12	Lesson2『Australia's Cute Quokkas』新出単語 Lesson2『Australia's Cute Quokkas』新出単語 確認問題 Lesson2『Australia's Cute Quokkas』本文読解①	2	②	6月10日		
8	6	Lesson2『Australia's Cute Quokkas』本文読解②					
9	12	Lesson3『A Train Driver in Sanriku』新出単語 Lesson3『A Train Driver in Sanriku』新出単語 確認問題 Lesson3『A Train Driver in Sanriku』本文読解①	3	③	9月10日		
10	9	Lesson3『A Train Driver in Sanriku』本文読解② Lesson3『A Train Driver in Sanriku』Grammar① Lesson3『A Train Driver in Sanriku』Grammar②	4・5	④・⑤	10月10日 10月25日		
11	12	Lesson4『Miracle Mirror』新出単語 Lesson4『Miracle Mirror』新出単語 確認問題 Lesson4『Miracle Mirror』本文読解①	6・7	㉑・㉒	11月10日 11月25日		
12	3	Lesson4『Miracle Mirror』本文読解② Lesson4『Miracle Mirror』Grammar① Lesson4『Miracle Mirror』Grammar②	8・9	㉓・㉔	12月10日 12月25日		
1	9	Lesson5『Learning from the Sea』新出単語 Lesson5『Learning from the Sea』新出単語 確認問題 Lesson5『Learning from the Sea』本文読解①					
2	6	Lesson5『Learning from the Sea』本文読解② Lesson5『Learning from the Sea』Grammar① Lesson5『Learning from the Sea』Grammar②					

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	1年	
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者			
家庭	家庭基礎		2		2		辰巳 朔奈			
教科書名			出版社		学習書		学習期間			
家庭基礎 気づく力 築く未来			実教出版		家庭基礎		通年			
レポートの種類	一般レポート		選択レポート	②③④⑧		面接時数	全実施時間数 54 時間			
	報告課題集						標準面接時数 4 時間			
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	67%									
指導目標										
・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために科学的な知識を理解する。 ・生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し表現することで課題解決能力を身につける。										
月	指導時数	単元・学習内容				レポート指導			試験範囲	備考
						回数	選択番号	提出日		
4	4	子どもとは 子どもの発達								
5	6	子どもの生活 子どもをはぐくむ 子どものための社会福祉				1	②	5月10日		
6	8	高齢社会に生きる 高齢者を知る 高齢者の自立を支える 高齢社会を支えるしくみ				2	③	7月10日		
8	4	日本の食文化の形成 私たちの食生活								
9	8	栄養と食品のかかわり 食品の選び方と安全 食事の計画と調理				3	④	9月10日		
10	6	人間と住まい 住まいの文化								
11	8	住まいを計画する 健康に配慮した快適な室内環境 安全な住まい				4	⑧	11月10日		
12	2	持続可能な住まいづくり								
1	6	暮らしと経済								
2	4	将来のライフプランニング								

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	3年	
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者			
情報	情報Ⅰ		2		2		城田 秀赫			
教科書名			出版社		学習書		学習期間			
新編 情報Ⅰ			東京書籍		無し		通年			
レポートの種類	一般レポート		選択レポート			面接時数	全実施時間数 50 時間			
	報告課題集						標準面接時数 4 時間			
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法	各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。						
定期試験の評価割合	67%									
指導目標										
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。										
月	指導時数	単元・学習内容				レポート指導			試験範囲	備考
						回数	選択番号	提出日		
4	4	第1章 情報で問題を解決する 情報とメディアの特性 著作権								
5	8	第2章 情報を伝える コミュニケーション手段の変化 ユニバーサルデザイン				1		5月10日		
6	6	第3章 コンピュータを活用する コンピュータとは何か アルゴリズムの表現・プログラムの基本構造				2		6月10日		
7	2	第4章 データを活用する ネットワークとインターネット								
8	2	情報セキュリティ								
9	4	第5章 活動して提案する 光の三原色体験 プログラムで動きを再現				3		9月10日		
10	8	シミュレーション データの分析 産業財産権				4		10月10日		
11	6	各章のまとめ データ量の計算（2進法の計算） 音のデジタル化								
12	6	論理回路 リボ払いのシミュレーション データベースの活用								
1	4	問題解決のツール いろいろな法律								

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	1年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
総合	総合的探究の時間		2		2		新井 恒有		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
常識＆マナーBOOK			学研出版				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート				面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法			各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。			
定期試験の評価割合	67%								

指導目標
現在の日本社会における高校生としての常識やマナーについて学ぶことから始め、卒業後の社会生活においての相応しい行動を理解させる。また社会人として相応しい行動とはどういったものを理解させる。 自身の過去の振り返りをさせ職業適性などについても考察させる。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	「常識＆マナー」 ・生活一般のマナーⅠ・Ⅱ ・言葉づかいについて ・電話のかけ方・受け方 その他一般常識問題等					
5	8						
6	6	・スマホ・携帯電話のマナー ・インターネットのマナー ・SNSなどの危険性等 その他一般常識問題等					
7	4						
8	2						
9	4	・訪問先でのマナー ・食事のマナー ・受験・就職活動での注意 その他一般常識問題等					
10	8						
11	6	・社会人としてのマナー ・仕事上の基本マナー ・企業訪問時のマナー その他一般常識問題等					
12	4						
1	6	・自分自身の振り返り ・自分の志向と仕事の種類 ・業種と職種・仕事のやりがい その他一般常識問題等					
2	4						

2026年度 年間教育計画(連携科目等)

所 属	大阪情報コンピュータ高等専修学校						
学 科	普通科		コース	全コース共通		学年・年次	1年
科目名	ビジネス基礎	単位数	2	教科書	ビジネス基礎	出版社	実教出版
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			56 h		
4	4～5 6～7 8～9	商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要案内 01 商業の学習とビジネス 02 ビジネスとコミュニケーション 03 経済と流通の基礎			4		
5	10 20～32	04 私たちの社会とビジネス 05 コミュニケーション			6		
6	11～19	06 経済の仕組みとビジネス 定期試験対策(1時間)			8	6月27日 ～ 6月30日	
7							
8	11～19	07 さまざまなビジネス 定期試験対策(1時間)			4	8月29日 ～ 9月1日	
9	22～23 24～25 26～27	08 ビジネスマナー 09 情報の入手と活用 10 経済活動と流通			8		
10	28～29 30～31 32～33 34～35	11 ビジネスの種類 12 小売業 13 卸売業 14 金融業			6		
11	36～37	15 情報通信業			8		
12	42～43 44～45	16 企業活動の基礎 17 ビジネスと企業			2		
1	46～47 48～49	18 マーケティングの重要性 19 資金調達 定期試験対策(1時間)			6	1月30日 ～ 2月2日	
2	50～51 52～53	20 財務諸表の役割 21 企業活動と税			4		
3							

《留意事項》

2026年度 年間教育計画(連携科目等)

所 属	大阪情報コンピュータ高等専修学校						
学 科	普通科		コース	全コース共通		学年・年次	1年
科目名	情報処理	単位数	4	教科書	最新情報処理	出版社	実教出版
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			112 h		
4	4～5	情報の意義と役割について 01 企業活動と情報処理 02 情報処理の重要性			8		
5	6～7	03 情報モラルと法規			12		
6	10～11	04 コミュニケーションと情報デザイン 定期試験対策(1時間)			16	6月27日 ～ 6月30日	
7							
8	20～21	05 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 定期試験対策(1時間)			8	8月29日 ～ 9月1日	
9	22～23	06 情報通信ネットワークのしくみと構成			16		
10	28～29	07 インターネットの活用			12		
11	36～37	08 情報セキュリティの確保			16		
12	42～43	09 情報の集計と分析			4		
1	46～47 48～49	10 関数を利用した表の作成 11 グラフの作成 定期試験対策(1時間)			12	1月30日 ～ 2月2日	
2		関数を利用した表の作成 グラフの作成 復習			8		
3							

《留意事項》

2026年度 年間教育計画(連携科目等)

所 属	大阪情報コンピュータ高等専修学校						
学 科	普通科		コース	全コース共通		学年・年次	1年
科目名	プログラミング	単位数	2	教科書	プログラミング マクロ言語	出版社	実教出版
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			114 h		
4	10～16	情報システムとプログラミングについて 02 プログラム言語の種類と特徴 03 プログラミングの手順			16		
5	18～20	アルゴリズム 01 アルゴリズムの表現技法			12		
6	22～37	02 基本的なアルゴリズム 定期試験対策(1時間)			16	6月27日 ～ 6月30日	
7							
8	48～88	03 応用的なアルゴリズム 定期試験対策(1時間)			16	8月29日 ～ 9月1日	
9	22～23	情報システムとプログラミングについて 01 情報システムの重要性			2		
10	90～104	プログラムと情報システムの開発 01 情報システム開発の 手法と手順			18		
11	106～110	02 プロジェクト管理			10		
12	112～143	03 プログラムによる企業活動の改善			4		
1	148～178 178	04 情報システムの開発 05 情報システムの評価と改善 定期試験対策(1時間)			12	1月30日 ～ 2月2日	
2		Excelマクロを利用したプログラムの作成 復習			8		
3							

《留意事項》

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	2年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
国語	論理国語		2		2		伊藤 直晃 ・土橋 秀多郎		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
論理国語			東京書籍				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		①②③⑦⑧⑨		面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標

実用的な文章に触れながら書く力、読み取る力、聞き取る力、受け止める力、自分の考えを表現・伝える力を養う。論理的思考力・表現力の向上を目指す。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考	
			回数	選択番号	提出日			
4	4	年間オリエンテーション						
5	8	「新しい発見 新しい地球観」						1
6	6	「言葉と文化 数え方で磨く日本語」	2	②	6月10日			
7	4	「ヒトはなぜひとになったか」						
8	2							
9	4	「生活の中の表現 情けは人の…」	3	③	9月10日			
10	8	「新しい視点 哲学思想とは何か」	4	⑦	10月10日			
11	6	「人間と社会 コミュニケーションの文化」	5	⑧	11月10日			
12	4	「生活と自然 クマを変えてしまう人間」	6	⑨	12月10日			
1	6	学年末試験対策						
2	4	映像視聴(NHK特集)						

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	2年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
地歴	地理総合		2		2		垣本 康彦		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
高等学校 新地理総合			帝国書院		なし		通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		③⑪⑬⑭⑮⑯		面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標							
世界各地の地形や気候を学び、人々の暮らしや社会の課題と関連づけて理解する。 世界の様々な諸問題を地理的視座で考察し、SDGsなどの国際的な取り組みについて理解し、どのように協力できるかを考える力を養う。 特に日本国内で発生している自然災害について理解し、減災や防災に取り組む技能を培う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	地球所の位置と時差 地図の役割と種類					
5	8	現代世界の国家と領域 グローバル化する世界	1	③	5月10日		
6	6	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活	2	⑪	6月10日		
7	4	世界の言語・宗教と人々の生活					
8	2	歴史的背景と人々の生活					
9	4	世界の産業と人々の生活	3	⑬	9月10日		
10	8	地球環境問題	4	⑭	10月10日		
11	6	資源・エネルギー問題 人口問題	5	⑮	11月10日		
12	4	食料問題 都市・居住問題	6	⑯	12月10日		
1	6	自然環境と防災					
2	4	自然災害への備え					

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	2年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
数学	数学 I		2		2		星野 順平 ・ 牛建 昭子		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
Standard 数学 I			東京書籍				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		①②③④⑤⑥		面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標							
数学の基礎的な計算、図形、グラフの知識を培わせ、社会で起こる事柄に活用するために解き方だけでなく論証に基づいてどのような繋がりがあるのかをよく理解する。 ①図形やグラフを式から導き出し、正確に表せられるような知識や技術を身につけさせる。 ②公式や例題の解き方を覚えるのではなく、論証に基づいた考え方を養う。 ③日常生活を送る上で、社会の課題に活用するために必要な知識や考え方を理解する。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	直角三角形と三角比 三角比の相互関係					
5	8	三角比と座標 三角比の性質	1	①	5月10日		
6	6	三角比の拡張 正弦定理・余弦定理	2	②	6月10日		
7	4	面積の公式					
8	2						
9	4	内接円の半径と三角形の面積	3	③	9月10日		
10	8	空間図形の計量 データの散らばり	4	④	10月10日		
11	6	分散の計算 分散と標準偏差	5	⑤	11月10日		
12	4	データの分析と相関 仮説検定の考え方	6	⑥	12月10日		
1	6	既習内容のまとめ					
2	4	復習問題の演習					

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	2年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
理科	科学と人間生活		2		2		諏訪 美生子		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
高等学校 科学と人間生活			第一学習社		なし		通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		③⑪⑬⑭⑮⑯		面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標
自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活にはたしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	第1章 物質の化学 科学とその利用					
5	8		1	③	5月10日		
6	6	第3章 熱や光の化学 熱の性質とその利用	2	⑪	6月10日		
7	4						
8	2	第2章 生命の科学 ヒトの生命現象					
9	4		3	⑬	9月10日		
10	8	第2章 生命の科学 微生物とその利用	4	⑭	10月10日		
11	6		5	⑮	11月10日		
12	4	第4章 地球や宇宙の化学 太陽と地球	6	⑯	12月10日		
1	6						
2	4	第5章 これからの科学と人間生活					

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	2年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
保健体育	体育		2		2		遠藤 信行、三田村 優子、小西 唯		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
現代高等保健体育			大修館				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		④⑤		面接時数	全実施時間数 56 時間	
	報告課題集							標準面接時数 10 時間	
定期試験	年間・(学期) 1 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標

健康で豊かな生活を送るために、運動することによって体力の維持・向上だけでなく、スポーツを楽しむ、仲間との交流など社会性も身につける。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	集団行動。ラジオ体操第一。ストレッチ。					
5	8		1	④	6月30日		
6	6	ソフトボール。体育理論。					
7	4						
8	2	ストレッチ。 キックベースボール。 ドッジボール。	2	⑤	9月30日		
9	4						
10	8	ストレッチ。 サッカー。 体育理論。					
11	6						
12	4						
1	6	ストレッチ。 サッカー。 アルティメット。					
2	4						

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	2年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
保健体育科	体育		1		1		遠藤 信行、小西 唯		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
現代高等保健体育			大修館				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		④⑤⑥		面接時数	全実施時間数 28 時間	
	報告課題集							標準面接時数 1 時間	
定期試験	年間・(学期) 1 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標
2年次は「安全な社会生活」「生涯を通じる健康」を学習テーマとし、「安全な社会生活」では交通事故問題や応急手当などについて学習。「生涯を通じる健康」では生涯の各ステージ(思春期を中心)における問題について学習、理解させる。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防					
5	4		1	④	5月30日		
6	3	・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全					
7	2						
8	1		2	⑤	8月31日		
9	2	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法					
10	4						
11	3	・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択					
12	2		3	⑥	12月20日		
1	3	・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康					
2	1						

2026年度 年間教育計画

所 属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学 科	普通科	コ ー ス	全コース共通		学 年・年 次	2 年
教 科	科 目		単 位 数		標準単位数		担 当 者		
芸 術	美術Ⅰ		2		2		藤森 真澄		
教科書名			出 版 社		学 習 書		学 習 期 間		
美術Ⅰ			光村図書				通 年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート				面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法			各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。			
定期試験の評価割合	67%								

指導目標

美術の幅広い創造活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考	
			回数	選択番号	提出日			
4	4							
5	8	色彩について	1		5月10日			
6	6	デッサンについて	2		6月10日			
7	4							
8	2							
9	4	空間表現について	3		9月10日			
10	8	絵画構成(コラージュ)について	4		10月10日			
11	6	デザインについて	5		11月10日			
12	4	美術史について	6		12月10日			
1	6							
2	4							

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	2年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
外国語	英語コミュニケーションⅠ		2		2		竹内 一夫 ・ 浦谷 知治 ・ 西野由香		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
All Aboard! English CommunicationⅠ			東京書籍				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		⑥・⑦・⑧・⑨・⑩・㉔		面接時数	全実施時間数 54 時間	
	報告課題集							標準面接時数 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標							
単語や文法、イディオムなどを覚え、教科書内の英文を日本語訳できるようになることを最低限度の目標とする。また、海外文化やマナーなども同時に学習し、生徒が新たな価値観や視点を持つことも目標とする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考	
			回数	選択番号	提出日			
4	4	Lesson6『A Funny Picture from the Edo Period』新出単語 Lesson6『A Funny Picture from the Edo Period』新出単語 確認問題 Lesson6『A Funny Picture from the Edo Period』本文読解①						
5	8	Lesson6『A Funny Picture from the Edo Period』本文読解② Lesson6『A Funny Picture from the Edo Period』Grammar① Lesson6『A Funny Picture from the Edo Period』Grammar②	1	⑥	5月10日			
6	6	Lesson7『A Diary of Hope』新出単語 Lesson7『A Diary of Hope』新出単語 確認問題 Lesson7『A Diary of Hope』本文読解①	2	⑦	6月10日			
7	4							
8	2	Lesson7『A Diary of Hope』本文読解②						
9	4	Lesson8『A Door to a New Life』新出単語 Lesson8『A Door to a New Life』新出単語 確認問題 Lesson8『A Door to a New Life』本文読解①	3	⑧	9月10日			
10	8	Lesson8『A Door to a New Life』本文読解② Lesson8『A Door to a New Life』Grammar① Lesson8『A Door to a New Life』Grammar②	4	⑨	10月10日			
11	6	Lesson9『Fighting Plastic Pollution』新出単語 Lesson9『Fighting Plastic Pollution』新出単語 確認問題 Lesson9『Fighting Plastic Pollution』本文読解①	5	⑩	11月10日			
12	4	Lesson9『Fighting Plastic Pollution』本文読解② Lesson9『Fighting Plastic Pollution』Grammar① Lesson9『Fighting Plastic Pollution』Grammar②	6	㉔	12月10日			
1	6	Lesson10『Pigs from across the Sea』新出単語 Lesson10『Pigs from across the Sea』新出単語 確認問題 Lesson10『Pigs from across the Sea』本文読解①						
2	4	Lesson10『Pigs from across the Sea』本文読解② Lesson10『Pigs from across the Sea』Grammar① Lesson10『Pigs from across the Sea』Grammar②						

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校	学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者			
総合	総合的探究の時間	2	2		遠藤 信行・小西 唯・浦谷 知治			
教科書名		出版社	学習書		学習期間			
基礎知識BOX		学研出版			通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート			面接時数	全実施時間数 54 時間		
	報告課題集					標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	授業内のプリントから知識や技能に関する問題を出題し、評価する。授業内のプリントから思考・判断・表現に関する問題を出題し、評価する。ノートやレポート提出、自ら進んで学ぶ姿勢があるか、発表の相互評価により評価					
定期試験の評価割合	0%							

指導目標

現在の日本社会における高校生としての常識やマナーについて学ぶことから始め、卒業後の社会生活における相応しい行動を理解させる。また社会人として相応しい行動とはどういったものを理解させる。
自身の過去の振り返りをさせ職業適性などについても考察させる。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	小論文を書くための基礎知識、格差社会、SDGsについて					
5	8						
6	6	SDGsについて、人口減少社会、情報化社会					
7	4						
8	2						
9	4	地球温暖化、エネルギー問題、環境問題について					
10	8						
11	6	グローバル化と言語・宗教、公教育の役割、子どもの多様化と教育					
12	4						
1	6	市場の働きと限界、所得再分配、働き方の課題					
2	4						

2026年度 年間教育計画(連携科目等)

所 属	大阪情報コンピュータ高等専修学校						
学 科	普通科		コース	全コース共通		学年・年次	2年
科目名	ビジネス基礎	単位数	3	教科書	ビジネス基礎	出版社	実教出版
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			81 h		
4	4～5	オリエンテーション 今までの学習内容とこれからの計画・目標について 01 商業の学習とビジネス			6		
5	20～32	02 ビジネスに対する心構え			9		
6	11～19	03 経済と流通 定期試験対策(1時間)			12	6月27日 ～ 6月30日	
7							
8	11～19	04 取引とビジネス計算 定期試験対策(1時間)			6	8月29日 ～ 9月1日	
9	22～23	05 企業活動			12		
10	28～29	06 身近な地域のビジネス			9		
11		全国商業高等学校協会主催 商業経済検定について 13 例題と出題範囲について 14 過去問題に挑戦			12		
12					3		
1		定期試験対策(1時間)			6	1月30日 ～ 2月2日	
2		全国商業高等学校協会主催 商業経済検定 受験 試験について振り返り・反省			6		
3							

《留意事項》

2026年度 年間教育計画(連携科目等)

所 属	大阪情報コンピュータ高等専修学校						
学 科	普通科		コース	全コース共通		学年・年次	2年
科目名	情報処理	単位数	4	教科書	最新情報処理	出版社	実教出版
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			112 h		
4	4～5	オリエンテーション 今までの学習内容とこれからの計画・目標について 01 情報の活用と情報モラル 02 マイクロソフト社EXCELの基礎知識			8		
5	6～9	03 ハードウェアとソフトウェア 04 パーソナルコンピュータの操作方法 05 情報量について 06 情報量の単位			12		
6	10～11	07 通信ネットワークに関する知識 定期試験対策(1時間)			16	6月27日 ～ 6月30日	
7							
8	20～21	08 情報モラルとセキュリティに関する知識 09 プログラムに関する知識 10 アルゴリズム 定期試験対策(1時間)			8	8月29日 ～ 9月1日	
9	22～23	11 関数の利用について			16		
10	28～29	12 グラフの利用について 全国商業高等学校協会主催 情報処理検定について 13 例題と出題範囲について 14 過去問題に挑戦			12		
11					16		
12					4		
1		全国商業高等学校協会主催 情報処理検定 受験 定期試験対策(1時間)			12	1月30日 ～ 2月2日	
2		試験について振り返り・反省			8		
3							

《留意事項》

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	3年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
国語	論理国語		2		2		土橋 秀多郎		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
論理国語			東京書籍				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		④⑤⑥⑩⑪⑫		面接時数	全実施時間数 50 時間	
	報告課題集							標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標

実用的な文章に触れながら書く力、読み取る力、聞き取る力、受け止める力、自分の考えを表現・伝える力を養う。論理的思考力・表現力の向上を目指す。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	年間オリエンテーション 「新しい博物学を」					
5	8	「ヒトはなぜヒトになったか」 「雨傘」	1	④	5月10日		
6	6	「共同性の幻想」	2	⑤	6月10日		
7	2	「哲学思想とは何か」					
8	2						
9	4	「構成を考えて小論文を書く」	3	⑥	9月10日		
10	8	「経験の教えについて」	4	⑩	10月10日		
11	6	「僕らの時代のメディア・リテラシー」	5	⑪	11月10日		
12	6	「支え合うことの意味」	6	⑫	12月10日		
1	4	卒業試験対策					

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	3年	
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者			
国語	古典探究		2		2		伊藤 直晃			
教科書名			出版社		学習書		学習期間			
古典探究			東京書籍				通年			
レポートの種類	一般レポート		選択レポート	①③⑤⑦⑫⑰		面接時数	全実施時間数 50 時間			
	報告課題集						標準面接時数 2 時間			
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	67%									
指導目標										
古文(漢文)に触れ、随筆・物語・和歌・漢詩等の作品の内容を踏まえて、自身の物の見方・考え方の幅を拡げ、豊かな感性を身につける。古文・漢文を読みこなせることを最低限の目標とする。										
月	指導時数	単元・学習内容				レポート指導			試験範囲	備考
						回数	選択番号	提出日		
4	4	年間オリエンテーション								
		『蜻蛉日記』泔坏の水								
5	8					1		5月10日		
6	6	『方丈記』ゆく川の流れ				2		6月10日		
7	2	「金縷衣」								
8	2									
9	4	『大和物語』姥捨				3		9月10日		
10	8	「古文の学習」				4		10月10日		
11	6	『孟子』『老子』				5		11月10日		
12	6	漢文の学習(訓読の復習)				6		12月10日		
1	4	卒業試験対策								

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	3年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
地理歴史	歴史総合		2		2		木村 俊也		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
高等学校 新歴史総合			第一学習者		なし		通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		②⑩⑫⑬⑯⑰		面接時数	全実施時間数 50 時間	
	報告課題集							標準面接時数 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標
近現代の日本の歴史を時系列で学び、現代の日本の政治や文化、経済の形成課程を理解する。 日本の歴史と、諸外国との接点を歴史的観点から学び、国際社会における日本の立場と役割を考察する。 現代と将来に向けての課題を検討し、予測しうる課題への取り組みについて考える能力を身に着ける。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	18世紀のアジアの繁栄					
5	8	工業化の進展と国民国家の建設	1	②	5月10日		
6	6	結びつく世界と日本の開国	2	⑩	6月10日		
7	2	帝国主義とアジア諸国の変容					
8	2	第一次世界大戦と大衆社会					
9	4	経済危機と第二次世界大戦	3	⑫	9月10日		
10	8	第二次世界大戦後の世界と日本	4	⑬	10月10日		
11	6	冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	5	⑯	11月10日		
12	6	世界秩序の変容と日本	6	⑰	12月10日		
1	4	これまでの学習内容のまとめ					

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	3年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
数学	数学A		2		2		牛建 昭子 ・ 星野 順平		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
Standard 数学A			東京書籍				通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート		①②③④⑤⑥		面接時数	全実施時間数 50 時間	
	報告課題集							標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法		各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	67%								

指導目標							
数学の基礎的な計算、図形、グラフの知識を培わせ、社会で起こる事柄に活用するために解き方だけでなく論証に基づいてどのような繋がりがあるのかをよく理解する。 ①図形やグラフを式から導き出し、正確に表せられるような知識や技術を身につけさせる。							
②公式や例題の解き方を覚えるのではなく、論証に基づいた考え方を養う。							
③日常生活を送る上で、社会の課題に活用するために必要な知識や考え方を理解する。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	数え上げの原則と集合の要素の個数					
5	8	順列 組合せ	1	①	5月10日		
6	6	事象と確率 確率の基本性質	2	②	6月10日		
7	2	独立な試行の確立					
8	2	反復試行の確立					
9	4	条件付き確率 期待値	3	③	9月10日		
10	8	三角形と比 三角形の外心・内心・重心 三角形の比の定理	4	④	10月10日		
11	6	円の性質 2つの円 作図の方法の考察	5	⑤	11月10日		
12	6	空間における2直線・2平面の関係 直線と平面の関係	6	⑥	12月10日		
1	4	既習内容のまとめ 復習問題の演習					

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	3年	
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者			
保健体育	体育		2		2		遠藤 信行			
教科書名			出版社		学習書		学習期間			
現代高等保健体育			大修館				通年			
レポートの種類	一般レポート		選択レポート	①⑦⑧⑭		面接時数	全実施時間数 10 時間			
	報告課題集						標準面接時数 4 時間			
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法	各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。						
定期試験の評価割合	67%									
指導目標										
家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。										
月	指導時数	単元・学習内容				レポート指導			試験範囲	備考
						回数	選択番号	提出日		
4	0									
5	0					1	①	5月30日		
6	0									
7	6	これからの人生に向かって 家族って何だろう？ 食生活を見つめよう				2	⑦	7月30日		
8	0									
9	0									
10	0					3	⑧	10月30日		
11	0									
12	4	私たちが食べているもの 何をどうやって買う？ かしこい消費者になろう				4	⑭	12月30日		
1	0									

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校	学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	3年
教 科	科 目	単 位 数		標準単位数		担当者		
英語	英語コミュニケーションⅡ－1	2		2		竹内 一夫 ・ 浦谷 知治 ・ 西野 由香		
教科書名		出版社		学習書		学習期間		
All Aboard! Ⅱ		東京書籍				通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート		面接時数	全実施時間数 50 時間			
	報告課題集				標準面接時数 時間			
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	67%							

指導目標
言語や文化に対する理解を深め、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を育てる。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4					↓	
5	8	Lesson1 「A Colorful Island」 本文 Lesson1 「関係代名詞」 文法	1		5月10日		
6	6	Lesson2 「With the Beatles」 本文 Lesson2 「比較表現」 文法	2		6月10日		
7	2						
8	2						
9	4	Lesson3 「Wild Men」 本文 Lesson3 「itの用法」 文法	3		9月10日		
10	8	Lesson4 「Little Hero」 本文 Lesson4 「間接疑問文」 文法	4		10月10日		
11	6	Lesson5 「Special Makeup in Kabuki」 本文 Lesson5 「to不定詞を含む表現」文法	5		11月10日		
12	6	Reading1 「Mujina」 本文 文法のまとめ①② p.40,41,76,77	6		12月10日		
1	4						

2026年度 年間教育計画

所属	大阪情報コンピュータ高等専修学校		学科	普通科	コース	全コース共通		学年・年次	3年
教 科	科 目		単位数		標準単位数		担当者		
情報	情報Ⅰ		2		2		城田 秀赫		
教科書名			出版社		学習書		学習期間		
新編 情報Ⅰ			東京書籍		無し		通年		
レポートの種類	一般レポート		選択レポート				面接時数	全実施時間数 50 時間	
	報告課題集							標準面接時数 4 時間	
定期試験	年間・学期 5 回		評定算出方法			各学期毎に、試験成績200点、平常点100点の合計300点を満点として各期の評価を行う。三期の合計点から総合評価を行い、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。			
定期試験の評価割合	67%								

指導目標							
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	第1章 情報で問題を解決する 情報とメディアの特性 著作権					
5	8	第2章 情報を伝える コミュニケーション手段の変化 ユニバーサルデザイン	1		5月10日		
6	6	第3章 コンピュータを活用する コンピュータとは何か アルゴリズムの表現・プログラムの基本構造	2		6月10日		
7	2	第4章 データを活用する ネットワークとインターネット					
8	2	情報セキュリティ					
9	4	第5章 活動して提案する 光の三原色体験 プログラムで動きを再現	3		9月10日		
10	8	シミュレーション データの分析 産業財産権	4		10月10日		
11	6	各章のまとめ データ量の計算（2進法の計算） 音のデジタル化					
12	6	論理回路 リボ払いのシミュレーション データベースの活用					
1	4	問題解決のツール いろいろな法律					

2026年度 年間教育計画(連携科目等)

所 属	大阪情報コンピュータ高等専修学校							
学 科	普通科		コース	全コース共通		学年・年次	3年	
科目名	課題研究	単位数	5	教科書		出版社	実教出版	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				125 h		
4		分野 テーマ 決め ①調査 研究 例) キャリアプランニング ②作品制作 例) CGイラスト・ゲーム制作・DTM制作 ③産業現場等における実習 例) 職業体験・インターン ④職業資格の取得 例) 日本商工会議所主催 検定対策				10		
5		分野ごとの調査研究				15		
6		第一回 テーマまたは目標 発表				20	6月27日 ～ 6月30日	
7		③産業現場等における実習 組は会社見学・インターン参加						
8		第二回 中間報告 発表				10	8月29日 ～ 9月1日	
9		分野ごとの学習・実習				20		
10		分野ごとの学習・実習				15		
11		分野ごとの学習・実習				20		
12		第三回 中間報告 発表 分野ごとの学習・実習				5		
1		④職業資格の取得 組の検定試験 代表グループによる 研究発表				10	1月30日 ～ 2月2日	
2								
3								

《留意事項》

2026年度 年間教育計画(連携科目等)

所 属	大阪情報コンピュータ高等専修学校							
学 科	普通科		コース	全コース共通		学年・年次	3年	
科目名	情報処理	単位数	4	教科書		出版社		
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考	
	ページ	項 目・内 容			100 h			
4		分野 決め ①データベース作成・基本操作・設計組 ②プレゼンテーション実践組				8		
5		①Accessの基礎知識 ②プレゼンテーションの基礎				12		
6		①Access上のデータベース設計 ②プレゼンテーションのテーマ決め 定期試験対策(1時間)				16	6月27日 ～ 6月30日	
7								
8		①Access上のテーブル作成 ②プレゼンテーションの資料作成 定期試験対策(1時間)				8	8月29日 ～ 9月1日	
9		①Access上のリレーションシップ構築 ②プレゼンテーションの資料作成				16		
10		①Access上のクエリ作成 ②プレゼンテーションの資料作成				12		
11		①Access上のフォーム・レポート作成 ②プレゼンテーションの実践				16		
12		①Access上の更新・削除・追加 ②プレゼンテーションの反省・相互評価				4		
1		定期試験対策(1時間)				8	1月30日 ～ 2月2日	
2								
3								

《留意事項》